



# No.11 水と緑と歴史を感じる路コース 10.5km

## コース順路

①エコーピア (トイレ、水飲み場、P、自販機)	⑥日本神社 …………… 4.6 km
②高柳の池 …………… 1.2 km	⑦百体観音(さざえ堂) 5.8 km
③虚空蔵尊 …………… 2.2 km	⑧秋平橋 …………… 7.6 km
④長泉寺(骨波田の藤)入口 2.4 km	⑨千本桜橋 …………… 8.7 km
⑤間瀬湖 …………… 3.6 km	エコーピア (トイレ、水飲み場、P、自販機) …… 10.5 km



### おかのぼり かげよし 本庄出身の偉人 岡登景能の生地 埼玉県指定旧跡

岡登(岡上)景能  
・祖父 景純 ・父 景親とも上州吾妻郡一帯の代官(1668年 景能 足尾銅山奉行)



岡登景能の生地

本庄出身の歴史上の偉人に岡登景能という人がいました。この方の出自や系譜については諸説ありはっきりしないことが多いようですが、武蔵国児玉郡高柳村(現児玉町高柳)に生まれ、後に岡登家を継いで代官を世襲したと言われています。

景能が残した功績の一つに上野国新田郡笠懸野の開発があります。有能な官吏で、不毛の地であった原野の中に用水路を造り、渡良瀬川から水を引いて新しく耕地を開きました。寛文12年(1672年)に完成したこの用水は大間々町に取入口を設け、延長10km、大原新田(現太田市)など29カ村(村数は26ともいう)を開きました。

貞享4年(1687年)、以前村争いをした村々への処置が不適切であったと罪に問われ、八丈島遠島の判決を受けて、さらに年貢米などの取扱い不正の罪で切腹を命ぜられ、生涯を閉じました。

景能が造った用水は、一度は廃絶しますが、幕末期、地域住民は景能の神霊号を京都の吉田神道家から受け、用水復活の許可を獲得し、景能の恩恵を再確認することになりました。明治に入り、景能は地域の恩人として顕彰され、笠懸町(現みどり市)に岡登神社、藪塚本町(現太田市)に岡上霊神社(景能神社)として祀られています。後世、その功績が認められ大正12年には従五位を贈られました。

【参考、抜粋資料】・本庄市教育委員会 『本庄市の文化財』  
・児玉町史編さん室 『児玉町の歴史散歩(改訂版)』

- 注意事項**
- 日本神社から児玉総合運動公園入口間の一部は未舗装や道幅が狭く起伏が激しい場所もあります。
  - 小山川沿いの路の一部は未舗装の部分があります。
  - コース上歩道がない場所があります。
  - 民家がある所を通る際は配慮が必要です。



**本庄ウォーキングマップ**  
制作：本庄市教育委員会  
提案：ウォークこだま